

平成 23 年度 当初 予算 の ポイント

1 平成 23 年度 当初 予算 編成 の 基本的 な 考え方

管理組合の平成 23 年度当初予算は、次の考え方をもとに編成しました。

また、これまで取組を進めてきた「四日市港政策推進プラン(2007～2010)」の成果と課題を検証するとともに、県市の厳しい財政状況も踏まえながら、限られた行政経営資源で最大の効果が得られるよう、「選択と集中」を一層進め、重点的・効率的に配分しました。

(1) 「背後圏産業を物流面から支えるみなと」としての役割

- ・ 四日市港は、名古屋港とともに伊勢湾のスーパー中枢港湾として、アジア主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現に向けたコンテナ物流の高度化・効率化を図る取組を進めてきました。
- ・ 今後さらに、伊勢湾の特徴であるバルク貨物や完成自動車も含めた総合港湾としての「国際産業ハブ港」の実現に向け、日本経済を牽引する中部地域の背後圏産業の国際競争力維持・強化を物流面から支えていかなければなりません。
- ・ このような認識のもと、管理組合の平成 23 年度当初予算は、ますます激化する国際的な港湾間競争、国内港湾間競争に打ち勝ち、四日市港らしさを活かした港勢拡大を図るため、集荷対策や基盤整備を進めることとしています。
また、四日市地区を中心に施設の老朽化が著しいことから、今後数年間は維持補修に集中的に取り組む必要があると考えており、その初年度として必要な補修を行います。

(2) 「都市・住民とともにあるみなと」としての役割

- ・ 四日市港には、潮吹き防波堤や末広橋梁をはじめとして貴重な文化資産があります。最近では、民間ベースでもコンビナートの夜景クルーズなど港を活かしたまちづくりの機運が高まっています。これまでも管理組合は、県民・市民に港に関心をもっていただき、港に親しんでいただくための取組を進めてきましたが、今後も港のまちづくりを担う多様な主体の一つとして、港を身近に感じていただけるよう取組を進めていきます。
- ・ また、公園・緑地については、県民・市民がこれまで以上に安全に憩い、くつろげるよう、適切かつ効率的に維持管理していきます。
- ・ 四日市港には、直背後の住民の安全・安心を確保していくという役割もあ

ります。四日市港の海岸保全施設は伊勢湾台風による被災後に築造されたものが多く、老朽化が進んでいます。このため、富田港地区等において補強対策を進めてきましたが、今後も、大規模地震に備え、海岸保全施設の耐震性能の向上等を図らなければなりません。このため、早急に護岸の補強対策や防潮扉等の補修を進めていきます。

- ・ さらに、東海・東南海・南海地震発生の切迫性が指摘されていることから、市街地に近い四日市地区においても、緊急物資輸送用の耐震強化岸壁を早期に整備することとしています。

(3)「環境にやさしいみなと」としての役割

- ・ 四日市港は、「自然とふれあえ、人と生き物にやさしく、美しく、魅力があり、地域の環境や地球環境の改善にしっかりと取り組んでいる、地球にやさしいみなと」でありたいと考えています。
- ・ そのために、港内における水質等の調査を定期的を実施するとともに、啓発活動や環境学習等を通じて、水環境の保全に努めることとしています。
- ・ また、地球温暖化問題が深刻化する中で、港の機能・活動に可能な限り環境配慮を取り込んでいこうとする姿勢や努力が欠かせないことから、事業者と連携して港内の港湾活動から発生する温室効果ガスの削減に取り組んでいくこととしています。

2 予算の概要

(1)一般会計

- 一般会計の予算総額は約56億8,900万円で、平成22年度当初予算額と比較しますと、約700万円の増となっています。これは、港湾計画改訂関係調査の終了等により総務費が減額となる一方で、岸壁の耐震強化対策工事等で港湾建設費が増額となるとともに公債費が増加すること等によるものです。
- 財源の多くを占める県市負担金につきましては約37億7,100万円で、平成22年度当初予算額と比較して約3,900万円の減となっています。

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科 目	H22当初(A)	H23当初(B)	比 較 (B-A)	科 目	H22当初(A)	H23当初(B)	比 較 (B-A)
分担金・負担金	3,809,418	3,770,676	△ 38,742	議 会 費	21,453	20,337	△ 1,116
県 負 担 金	2,118,036	2,096,496	△ 21,540	総 務 費	880,445	771,927	△ 108,518
市 負 担 金	1,691,382	1,674,180	△ 17,202	港 湾 管 理 費	592,634	568,407	△ 24,227
使用料・手数料	574,957	574,065	△ 892	港 湾 建 設 費	1,241,985	1,342,177	100,192
国庫支出金	299,000	366,000	67,000	公 債 費	2,944,337	2,985,241	40,904
県 支 出 金	4,216	3,218	△ 998	予 備 費	1,000	1,000	0
財 産 収 入	1,595	1,042	△ 553				
繰 入 金	104,394	93,549	△ 10,845				
諸 収 入	86,274	56,539	△ 29,735				
組 合 債	802,000	824,000	22,000				
計	5,681,854	5,689,089	7,235	計	5,681,854	5,689,089	7,235

(2) 港湾整備事業特別会計

- 特別会計の予算総額は約27億2,900万円で、平成22年度当初予算額と比較して約1億7,900万円の増となります。これは、荷捌地の路面改良や荷役機械の安全対策工事等で建設事業費が約1億5,700万円増加すること等によるものです。
 - 歳入の多くを占める使用料収入については、約16億5,800万円で、平成22年度当初予算額と比較して約1億8,100万円減少する見込みとなっています。これは、起債償還が終了する施設の使用料の額について、償還額相当分を減額改定すること等によるものです。
- また、これらの使用料の減及び建設事業費の増等により、基金からの繰入金は約5億1,000万円で、平成22年度当初予算額と比較して約3億1,400万円の増となります。

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科 目	H22当初(A)	H23当初(B)	比 較 (B-A)	科 目	H22当初(A)	H23当初(B)	比 較 (B-A)
使用料・手数料	1,839,068	1,658,412	△ 180,656	管 理 費	680,910	697,183	16,273
財 産 収 入	418,295	399,924	△ 18,371	建 設 事 業 費	122,604	279,993	157,389
繰 入 金	196,624	510,421	313,797	公 債 費	1,745,879	1,751,493	5,614
繰 越 金	20,000	20,000	0				0
諸 収 入	75,406	27,912	△ 47,494				0
組 合 債	0	112,000	112,000				0
計	2,549,393	2,728,669	179,276	計	2,549,393	2,728,669	179,276

両会計をあわせた予算規模は、約84億1,800万円で、平成22年度当初予算額と比較すると、約1億8,700万円の増となります。

(単位：千円)

科 目	H22当初(A)	H23当初(B)	比 較 (B-A)	比 較 (B/A)
一 般 会 計	5,681,854	5,689,089	7,235	100.1%
港 湾 整 備 事 業 特 別 会 計	2,549,393	2,728,669	179,276	107.0%
計	8,231,247	8,417,758	186,511	102.3%

3 具体的な事業(主なもの)

(1)集荷対策及び航路誘致

- ・ 集荷対策及び航路誘致については、荷主企業から好評を得ているグリーン物流促進補助制度を引き続き実施し、環境負荷低減と物流コスト縮減の両面から四日市港の利用促進を図っていくとともに、北米航路などの基幹航路をはじめとする荷主企業のニーズの高い航路について、航路誘致補助事業などを活用して、新規航路開設に取り組むこととしています。

(特別会計) ポートセールス事業費 84,069 千円(H22 当初:91,349 千円)

グリーン物流促進補助事業 40,000 千円(H22 当初:50,000 千円)

航路誘致補助事業 40,000 千円(H22 当初:40,000 千円)

(2)物流機能を発揮するための基盤整備

- ・ 物流機能を発揮するための基盤整備については、臨港道路霞 4 号幹線や霞防波堤の整備をはじめ、泊地の維持浚渫、荷捌地や荷役機械などの改修等に取り組んでいくこととしています。
- ・ また、四日市地区を中心に港湾施設の老朽化が著しい状況にあります。これらの施設の計画的な維持補修を行って長寿命化を図るため、管理組合では、現在、施設の維持管理計画を策定しているところです。平成 23 年度も引き続き維持管理計画の策定に取り組むこととしており、平成 24 年度以降はこれに基づいて、予防保全的な維持管理に取り組んでいきます。

(一般会計) 国直轄事業負担金 485,000 千円(H22 当初:554,400 千円)

霞 4 号幹線:445,000 千円、霞防波堤:40,000 千円

(一般会計) 港湾補修事業費 135,000 千円(H22 当初:156,000 千円)

補助率:1/3、27 号岸壁電気防食取替等

(一般会計) 単独港湾施設維持補修費 144,650 千円(H22 当初:158,134 千円)

四日市地区 2 号地泊地の浚渫:87,500 千円

臨港橋開閉装置の補修:15,000 千円

(特別会計) 港湾施設改修費 257,744 千円(H22 当初:115,700 千円)

浜園 1~3 号荷捌地舗装改良工事:97,406 千円(新規)

霞西 14 号荷捌地整備工事:92,563 千円

千歳 2 号荷捌地オーバーレイ工事:20,000 千円

ガントリークレーン S-3 号機改修工事:28,875 千円

F 上屋耐震補強及び老朽化対策設計業務:9,900 千円(新規)

(一般会計) 長寿命化計画策定事業費 30,000 千円(H22 当初:30,000 千円)

補助率:4/10、維持管理計画の策定

(3)親しまれる港づくりの推進

- ・ 親しまれる港づくりの推進については、「みなと講座」や「みなとの語り部養成講座」を引き続き開催するとともに、「四日市港まつり」や四日市地区における「秋のみなとフェスタ」を開催するなど、多様な主体との連携・協働により、取組を進めていくこととしています。
- ・ また、親しまれる港づくりの拠点としての展望展示室について、適切な維持管理、運営を行うとともに、千歳運河物揚場の修景に配慮した石積補修を行うこととしています。
- ・ さらに、公園・緑地について、定期的なパトロールの実施など、適切かつ効率的に維持管理し、四日市港を訪れる人々や、四日市港で働く人々が憩い、くつろげる空間を維持していくこととしています。

(一般会計) イベント・交流事業費 1,696 千円(H22 当初:2,210 千円)

みなと講座の開催、みなとの語り部養成講座の開催
港まつりの開催、秋のみなとフェスタの開催
四季のイベントの開催など

(一般会計) 展望展示室運営事業費 11,861 千円(H22 当初:9,540 千円)

四日市港紹介映像の更新、諸設備修繕

(一般会計) 単独港湾施設維持補修費(再掲)

末広2号物揚場の石積補修:10,000 千円

(一般会計) 単独緑地維持補修費 64,600 千円(H22 当初:64,200 千円)

公園遊具等の修繕、芝刈・除草・清掃等

(4)背後地域の安全・安心の確保

- ・ 背後地域の安全・安心の確保については、富田港地区の護岸補強を進めるとともに、防潮扉をはじめとした海岸保全施設の維持補修を行うこととしています。
- ・ また、四日市地区において第3埠頭15号岸壁の耐震強化対策を進めることとしています。

(一般会計) 海岸高潮対策事業費 208,000 千円(H22 当初:260,000 千円)

補助率:1/2、富田港地区の護岸補強工事等

(一般会計) 単独海岸保全施設維持補修費(整備) 68,708 千円(H22 当初:69,208 千円)

防潮扉(BCDE 上屋等)の補修:14,771 千円

稲葉水門蓄電池等取替工事:14,224 千円

新富洲原ポンプ場管理等負担金:21,030 千円

(一般会計) 港湾改修事業費 400,000 千円(H22 当初:210,000 千円)

補助率:1/2、第3埠頭15号岸壁の耐震強化対策工事

(5)環境にやさしいみなとづくり

- ・ 環境にやさしいみなとづくりについては、事業者と連携して四日市港における港湾活動から発生する温室効果ガスの排出実態を把握し、この削減のための計画を策定することとしています。

また、港内における水質等の調査を実施することとしています。

さらに、再掲になりますが、グリーン物流促進補助制度を通じた荷主企業の環境負荷低減への支援を行うこととしています。

(一般会計) 環境調査推進費 15,328 千円(H22 当初:8,683 千円)

四日市港温室効果ガス削減計画策定業務:7,035 千円

水質・底質調査及び地盤沈下測量:7,395 千円

(特別会計) ポートセールス事業費(再掲)

グリーン物流促進補助事業 40,000 千円

(6)その他

- ・ その他、建造から22年を経過している港内巡視船「かもめ」の代替船を建造するための基本設計や、港内で発生する浚渫土砂の処分場を確保するための埋立免許変更申請業務に取り組んでいくこととしています。

(一般会計) 巡視船建造費(新規) 10,290 千円(H22 当初:0 千円)

代替船基本設計委託

(特別会計) 四日市港事業調査費(新規) 11,000 千円(H22 当初:0 千円)

埋立免許変更申請業務委託:11,000 千円